

法面

道路法面・盛土等に関する緊急対策  
計**66**箇所 H30~R2対策費**61**億円

対策例 危険箇所を迂回するバイパス整備

(主)大江西川線 貫見工区(大江町)



対策例 落石防止対策

(主)藤島由良線 油戸(鶴岡市)



耐震

道路橋の耐震補強に関する緊急対策  
計**78**箇所 H30~R2対策費**56**億円

地震による被害



対策例 耐震補強



対策例 橋梁架替による耐震化



道路関係強靱化箇所合計

**239**箇所 H30、R1、R2対策費計**217**億円

冠水

道路の排水施設等に関する緊急対策  
計**7**箇所 H30~R2対策費**17**億円

対策例 排水施設設置による対策



停電

道路における無停電設備等に関する緊急対策  
計**45**箇所 H30~R2対策費**26**億円

対策例 アンダーパスの停電対策

(国)344号 宮町アンダー(真室川町)



対策例 道の駅の停電対策

(国)121号 道の駅田沢(米沢市)



対策例 トンネル照明のLED化

(国)348号 境小滝トンネル(上市市・南陽市)



豪雪

大雪時の車両滞留危険箇所に関する緊急対策  
計**36**箇所 H30~R2対策費**38**億円

対策例 地吹雪対策のための防雪柵設置



電柱

市街地における電柱に関する緊急対策  
計**7**箇所 H30~R2対策費**17**億円

対策例 無電柱化の推進



対策数:123対策 <うち国土交通省53対策>

	政府全体	うち国土交通省
1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策[78対策]	概ね12.3兆円程度	<26対策>概ね7.7兆円程度
2. 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策[21対策]	概ね2.7兆円程度	<12対策>概ね1.5兆円程度
3. 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進[24対策]	概ね0.2兆円程度	<15対策>概ね0.13兆円程度
合計	概ね15兆円程度を目途	概ね9.4兆円程度を目途

注)四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

# 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

**概要:** 激甚化、頻発化する災害から速やかに復旧・復興するためには、道路ネットワークの機能強化が必要。発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進。  
府省庁名: 国土交通省

## 本対策による達成目標

### ◆中長期の目標

高規格道路約2万kmのミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等により、発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保する。

- ・高規格道路のミッシングリンク(約200区間)の改善率 ※改善: 全線または一部区間供用  
中長期の目標: 100%  
本対策による達成年次の前倒し 令和25年度→令和23年度
- ・高規格道路(有料)の4車線化優先整備区間(約880km)の事業着手率  
現状: 約13%(令和元年度) 中長期の目標: 100%

### ◆5年後(令和7年度)の状況

高規格道路のミッシングリンク改善率

- ・達成目標: 約30%
- ・高規格道路約2万kmにおいて、ミッシングリンク(約200区間)の約3割の区間について全線または一部区間供用する。

高規格道路(有料)の4車線化優先整備区間の事業着手率

- ・達成目標: 約47%
- ・高規格道路約2万kmにおいて、有料道路の4車線化優先整備区間(約880km)の約5割の区間について4車線化事業に着手する。

◆実施主体 国、高速道路会社、地方自治体

## ＜国土強靱化に資するミッシングリンクの解消＞



ミッシングリンクの解消により、津波浸水想定区域を回避するネットワークを確保

## ＜暫定2車線区間の4車線化＞



九州道で法面崩落が発生した際、4車線のうち被害のない2車線を活用し、約8時間で一般車両の下り線の通行を確保(約19時間後には一般車両の上下線の交通機能を確保)

# 道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

**概要** 要: 令和2年7月豪雨をはじめとする近年の豪雨では、道路区域内だけでなく道路区域外からも土砂崩落が発生し、高速道路及び直轄国道等の幹線道路に長時間にわたる通行止めが生じるなど道路交通に支障を及ぼす事態が発生。  
道路の法面や盛土において、レーザープロファイラ調査等の高度化された点検手法等により新たに把握された災害リスク等に対し、豪雨による土砂災害等の発生を防止するため、法面・盛土対策を推進する。

府省庁名: 国土交通省

## 本対策による達成目標

### ◆中長期の目標

緊急輸送道路において、土砂災害の危険性がある箇所に対する道路法面・盛土対策の実施により、土砂災害等の発生を防止する。

・緊急輸送道路の法面・盛土における対策必要箇所(約33,000箇所)の整備率

現状: 約55%(令和元年度)

中長期の目標: 100%

本対策による達成年次の前倒し  
令和38年度 → 令和36年度

### ◆5年後(令和7年度)の状況

・達成目標: 約73%

・緊急輸送道路において、豪雨による土砂災害により、通行止めが長期化するおそれのある箇所の約7割について法面・盛土対策を概ね完了する。

### ◆実施主体

・国、地方自治体



道路区域外に起因する大規模土砂災害が発生

令和2年7月豪雨  
(14日間の通行止め)



災害箇所におけるレーザープロファイラ調査結果



法面吹付工、落石防止網工